

左衽の婦
女

洛河を渡
る

(人家約四十戸)石河(人家約八十戸)山根(山頂或は谷間に梅、桃、杏、多し)三十里堡(人家約五十戸)鎮首(多く麻を培ふ)十里壁、五里堡等を過ぎ、午後六時五分澗池に投ず、行程約十二里。但し新安より鐵門鎮に到るには、南北二條の道路ありて、南路は泥濘深く車輛通じ難く、只北路に比すれば稍々捷徑たり。北路は山に隨ふて凹道、且つ高低一樣ならざるも、車輛を通すべし。鐵門鎮は其の南北に岩山突兀、中間洛河の流を通じ、更に南北兩道の分岐點に依り、共に昇降の坂路を成して萬壽橋に合す。予は其の南路を取りしが。路幅約三米突路面石礫を充して凹凸甚しく、通過頗る困難なりき。今日途上屢々婦女の左衽せるを見たり、管仲の政化を蒙らざりしにや。呵々

二十六日澗池を發し、槐樹灣、英豪鎮等幾個の村落を過ぎ、觀音堂に到りて宿泊す。行程約六里。本日經過の地形は、一般に波狀地にして小坂相踵で昇降多く、且つ半は凹道をなせしも、前日の如く路幅狹隘ならずして、車馬の通過に困難なく、其の臺地には多く小麥を作れるを見たり。澗池の西南に通ずる洛河は、辛ふじて徒涉し得しが、出水期には、一時交通杜絶するに至ること有らん英豪鎮の東門に行臺(高官の宿泊處)を、其他所々に古墳を認めたり。此日途上初めて蒙古人を見る。或は